

解決! 水回りのよくあるお悩み・お困りごと あまがさき版

上下水道電話受付センターにいただくお問い合わせを中心に、
水道・下水道に関するご家庭でのお悩み・お困りごとを集めました。ぜひお役立てください。

台所

水道水の臭いが気になるときは
(カルキ)



水道水には殺菌のため消毒用の塩素を入れることが法令で義務づけられています。気になる場合は、冷蔵庫で冷やすと塩素(カルキ)の臭いを感じにくくなります。

排水口から臭いがするとき



●台所などで臭いを感じたら

家庭の排水器具には、臭気や害虫などの侵入を防ぐため、管の内部に水を溜めるトラップが設置されています。室内で臭気が出るときは、トラップに不具合が生じている可能性があります。一度、下水道排水設備指定工事店にご相談ください。



▲検索はこちらから

●家の外や道路の側溝から臭いを感じたら

道路下に埋設されている下水道管から臭気が出ている可能性がありますので下水道部建設課にご連絡ください。
(☎06-6489-6562)

洗面所

じゃ口から異物が出てきたら



黒いものがまじっている場合は、じゃ口のパッキンの劣化などが考えられます。この場合、水道用器材として認証を受けた規格品では、健康に影響を与える材質は用いていませんが、早目に交換するようにしてください。

お風呂

じゃ口から水が出ないときは



水が出ないときは、近くで水道管の修繕工事などを行っている場合があります。また、水道メーターの横のバルブ(止水栓)が閉まっている可能性があるのので確認してください。

※中高層の住宅などではポンプの故障も考えられますので、管理人に連絡してください。

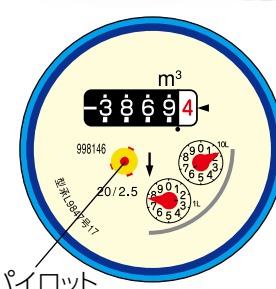
リビング

料金に関してききたいときは



●水道料金等を毎回支払いに行くのが面倒なら
口座振替やクレジットカードで支払う方法があります。口座振替の場合は、54円割引制度があります。金融機関の窓口やコンビニまで出向く必要がなく、支払いを忘れる心配もないので便利です。上下水道電話受付センターにて申込みのご案内をしています。

●料金が高くなったと感じたとき
これまでと水の使い方が変わらないのに、水道料金が高くなったと感じたときは、水道水が漏れていないか、水道メーターで点検できます。すべてのじゃ口を閉めても水道メーターの小さなコマ(パイロット)が回っていれば、どこかで水漏れしている可能性があります。上下水道電話受付センターにご相談ください。
(☎06-6375-0002)



パイロット

トイレ

自宅内の水回りに詰まりがあるときは



●台所やトイレ・お風呂など1か所だけが詰まっている場合
ご自宅の配管詰まりが原因となっている可能性がありますので、下水道排水設備指定工事店にご連絡頂き、ご対応願います。

●台所やトイレ・お風呂など全ての排水が詰まっている場合
市の管理する下水道管に不具合が生じている可能性がありますので、下水道部建設課にご連絡ください。
(☎06-6489-6562)

玄関

悪質な訪問販売等にご注意を



「尼崎市の方から来た」「点検をする」などと巧みに声をかけ、不安をあおって高価な浄水器を売りつけたり、水道管・排水管の清掃を強要したりする行為が報告されています。不審に思ったら、いったん断ってお問い合わせください。訪問だけでなく、電話でこうした話を持ちかける業者もいるので、十分注意してください。

湯水混合栓、湯沸かし器、温水器の修繕などは、指定給水装置工事事業者または、尼崎市水道工事協同組合(☎06-6422-8211)へお申込みください。

お困りごとや水道・下水道に関する各種お問い合わせは「上下水道電話受付センター」へ

☎06-6375-0002

午前8時45分～午後5時30分まで受け付けています。※

- 水道の使用開始・中止のお申込み
- 名義変更のお届け
- 水漏れ等の修繕のお申込み
- 口座振替・クレジットカード払いの手続きについて

FAXは06-6375-0124です。

※上記の時間外は上下水道庁舎警備室へ

☎06-6489-7400

上下水道庁舎 〒660-0051 尼崎市東七松町2丁目4-16

井戸水も下水道に

流していませんか?

井戸水を使用し、下水道に流す場合は、届出が必要で、下水道使用料が発生します。
詳しくは、水道部料金課にお問い合わせください。

水道部料金課(下水道使用料担当)

☎06-6489-6555



水道部 料金課

台風21号の被害に伴う停電による断水について

9月4日、台風21号の被害に伴い市内で大規模停電が発生したことから、各戸にポンプで給水しているマンションで断水などが発生しました。そのため、市内各所に臨時給水拠点を設けるなど対応しました。

今回の台風21号をはじめ大きな自然災害が続いています。ホームページや次号(12月発行予定)では、日頃からの備えなど災害時に役立つ情報を紹介します。